

議会だより

No149

平成28年
10月31日発行

群馬県邑楽町議会 URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail gikai@swan.town.ora.gunma.jp



長柄幼稚園の運動会

写真募集

邑楽町議会では、議会だよりの表紙に掲載する写真を募集します。
邑楽町に在住・在勤であればどなたでも応募できます。
詳しくはホームページをご覧ください。皆さまの応募をお待ちしています。

平成28年 9月定例会

平成27年度決算認定される(一般会計・各特別会計)
平成28年度補正予算可決(一般会計・各特別会計)

- 可決された議案……………3~4
- 決算質疑……………4
- 一般質問……………5~12
- わたしのふるさと等……13~14

一般質問 8人の議員が町の考えを問う

- ・大賀孝訓 議員
- ・松村 潤 議員
- ・大野貞夫 議員
- ・原 義裕 議員
- ・神谷長平 議員
- ・塩井早苗 議員
- ・松島茂喜 議員
- ・小島幸典 議員

動画による録画映像配信中
ホームページからアクセスできますので
ご覧ください

9月定例会

平成27年度の決算を認定

一般会計歳入総額99億8,955万円
歳出総額94億8,281万円
町税収入36億2,836万円(歳入総額の36.3%)

9月定例会では、平成27年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い、15日の本会議で各会計とも認定されました。

一般会計決算額は、歳入が前年度と比較して、6億4721万円の増となりました。繰越金、町税、県支出金等が減少した一方、町債、地方消費税交付金、国庫支出金等が増加したことにより、町債の増加は、道路整備事業債が3060万円、おうら中央多目的広場整備事業債が4260万円、児童福祉施設整備事業債が8090万円、小規模農道等整備事業債が4860万円増加したこと、地方消費税交付金が2億241万円増加したこと、国庫支出金の増加は、循環型社会形成推進交付金が2063万円、学校施設環境改善交付金(小学校)が4615万円、地域住民生活等緊急支援交付金が前年度繰越分を含めて5410万円増加したこと等により、

町税収入は、前年度より8025万円減の36億2836万円であり、歳入総額に占める構成比は、前年度から3.4%減の36.3%となりました。なお、町税の不納欠損については、昨年度より306万円減の1319万円の処理が行われ、収入未済額も昨年度より若干少ない3億6184万円余りとなっています。収納率について、現年課税分で見ると平成25年度98.0%、平成26年度98.2%、平成27年度98.5%と推移しており、収納の努力は認められるが、もう一段の成果の向上を図ることが必要と考えます。

歳出の決算額は、予算額98億7524万円に対し、94億8281万円(執行率96.0%、対前年比0.7%増)となっています。増加の主な要因は、北保育園改築事業3億400万円や町道整備国庫補助事業2億2421万円などで民生費や土木費の増等です。実質単年度収支は黒字に転換しましたが、町税は再び落ち込み、公債費は増加に転じたままです。また、

少子高齢化の進展により、今後も扶助費を中心に財政需要が増大していくと見込まれます。引き続き、各事業運営の改善や効率化をより一層推進されるよう要望します。

(増尾榮一代表監査委員
決算審査意見書抜粋)



改築された北保育園新園舎

■ 平成27年度決算額

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	99億8,955万1,213円	94億8,281万4,036円	5億0,673万7,177円
国民健康保険特別会計	39億0,480万9,708円	36億7,466万3,747円	2億3,014万5,961円
後期高齢者医療特別会計	2億2,402万4,340円	2億2,271万1,749円	131万2,591円
介護保険特別会計	18億4,513万8,004円	17億9,094万0,058円	5,419万7,946円
下水道事業特別会計	3億1,604万3,164円	2億8,781万1,380円	2,823万1,784円
学校給食事業特別会計	2億4,339万8,651円	2億3,576万8,588円	763万0,063円
水道事業会計	5億5,285万2,888円	5億0,194万7,140円	5,090万5,748円 (税引前当期利益)

■ 平成28年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	85億8,438万円	5億4,494万円	91億2,932万円
国民健康保険特別会計	35億8,355万円	2億3,797万円	38億2,152万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,495万円	138万円	2億2,633万円
介護保険特別会計	18億8,912万円	6,533万円	19億5,445万円
下水道事業特別会計	2億8,223万円	△540万円	2億7,683万円
学校給食事業特別会計	2億4,635万円	209万円	2億4,844万円

可決された議案

【総合計画基本構想】

■ 邑楽町第六次総合計画基本構想

平成28年度から10年間、新たなまちづくりの指針として、邑楽町第六次総合計画基本構想が議決されました。

【条例改正等】

■ 邑楽町税条例等の改正

「地方税法等の一部を改正する等の法律」の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

■ 邑楽町国民健康保険税条例の改正

「所得税法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

■ 邑楽町小規模企業振興条例

小規模企業の振興を図るため、条例を制定しました。

■ 邑楽町中小企業振興資金融

■ 資促進条例の改正

県信用保証協会への出資金を休止するため、条例の一部を改正しました。

【報告】

■ 平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、町の財政状況が健全であることが報告されました。

【人事案件】

■ 人権擁護委員の推薦

平成28年12月31日で任期満了となる人権擁護委員に、青葉和明さん（篠塚）、佐野桂彰さん（藤川）、福島慶子さん（中野）を推薦することに同意しました。

■ 固定資産評価審査委員会委員の選任

平成28年9月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員の選任について、中村紀雄さん（赤堀）を選任することに同意しました。

■ 教育委員会委員の任命

平成28年9月30日で任期満了となる教育委員の任命について、黒澤幸男さん（狸塚・再任）と、中村郷志さん（藤川・新任）を任命することに同意しました。

【契約の締結】

■ 邑楽町中央公民館建設工事（建築工事）

契約金額（消費税込）10億1520万円

■ 契約の相手方

邑楽町大字赤堀

徳川・河本邑楽町中央公民館建設工事（建築工事）特定建設工事共同企業体

■ 邑楽町中央公民館建設工事（電気設備工事）

契約金額（消費税込）1億2204万円

■ 契約の相手方

前橋市下細井町 門倉テクノ株式会社

■ 邑楽町中央公民館建設工事（機械設備工事）

契約金額（消費税込）



2億7864万円
 契約の相手方
 前橋市古市町
 パナソニックESファシリ
 ティエンジニアリング株式
 会社

◆
邑楽町中央公民館建設工事
(舞台設備工事)

契約金額(消費税込)
 2億3760万円
 契約の相手方
 東京都新宿区
 三精テクノロジーズ株式会
 社東京支店

**決算の
 主な質疑(要旨)**

一般会計、各特別会計の
 決算にあたり、行政効果
 などについて質疑が行わ
 れました。

Q 松島茂喜議員 一般会計

の単年度収支は黒字に転じ
 たが、町税収入は落ち込み、
 公債費は増加のままである。
 今後、どのような事業運営
 の改善を行うのか。

A 町長 低金利のものへの

借り換えの研究を指示し、
 町債に頼らない事業を展開
 する。

.....
Q 神谷長平議員 27項目で

流用しているが、大変事務
 的にお粗末である。町長は
 どのように考えているのか。

A 町長 今後は、十分精査

し、各担当の中で取り扱う
 よう気を付けていきたい。

請願・陳情

継続審査となっていた請
 願が審査され、結果次のと
 おりになりました。

〔採択となった請願〕

▼**保育士等の処遇改善と職
 員配置基準の引き上げの緊
 急対応と財源確保を求める
 請願書**

高崎市倉賀野町
 群馬県保育問題連絡会
 会長 平石美奈

意見書

議員提案の意見書2件を
 可決しました。意見書は関
 係行政庁に提出しました。

**保育士等の処遇改善と職員
 配置基準の引き上げの緊急
 対応と財源確保を求める意
 見書**

学校給食事業に係る意見書

町政を問う

一般質問

一般質問は、9月7日及び8日に行われました。質問には、8人の議員が登場し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

- | | | | |
|--|------|--|-------|
| ◆ 大賀 孝訓 議員
.....
学校給食の今後のあり方について | 5ページ | ◆ 神谷 長平 議員
.....
行財政運営について | 9ページ |
| ◆ 松村 潤 議員
.....
防災減災対策について | 6ページ | ◆ 塩井 早苗 議員
.....
地域防災計画について | 10ページ |
| ◆ 大野 貞夫 議員
.....
空き家対策について | 7ページ | ◆ 松島 茂喜 議員
.....
教育委員会の役割とあり方について | 11ページ |
| ◆ 原 義裕 議員
.....
ガバ沼及び中野沼周辺一帯の整備について | 8ページ | ◆ 小島 幸典 議員
.....
中央公民館完成後の旧3公民館の管理計画は | 12ページ |

一般質問



大賀 孝訓
議員

学校給食の今後のあり方について

問 学校給食については、邑楽町の農産物を多く取り入れることは聞いているが、さらに多くの特産品を学校給食に取り入れるような方策を教育長は考えているか。

答 教育長 あいあいセンターから14品目15トンの野菜を購入している。年間60トンの野菜の確保となると町内だけでは難しいが、地産地消を拡大するよう工夫を重ねていきたい。

問 本年度予算において、町の特産品をつくることを進めているが、地元食材を取り入れることは、食育、郷土愛や住んでいる町の農産物を食べていることが自覚できる。季節に応じた収穫量を見ながら、食材

協力的なものを整備する計画はないか。

答 教育長 給食協力会のような仮称ですが、さまざまなヒントやご指導を得て今後検討していく。

問 現在の給食の残量と、処理はどのように行われているか。

答 教育長 月に約6・5トン出ている。可燃物として清掃センターに搬入している。

問 これからの課題であるが、月6・5トンの焼却経費と肥料等に再利用した場合の経費を考え、リサイクルを進めるよう検討してほしい。学校全体での食育指導、もつたいないという道徳的指導、無理強いす

るのではなく、工夫と方策を強く指導してほしい。

答 教育長 ゴミの減量化は環境問題であり、再利用は今後の課題である。肥料等への利用は経費も生じるが真剣に考えたい課題である。残量物の仕分けを徹底させ、残さないということを学校に伝達していく。

問 多くの市町村では給食費を軽減する方向で進んでいる。今朝の新聞で、太田市では、小中学校の第2子から給食費の補助を進めていくとのことであった。年間約2億円の経費を予算化し、子育て支援政策の一環との報道である。隣の市のことではあるが、町長はどう考えるか。

答 教育長 多くの市町村では給食費を軽減する方向で進んでいる。今朝の新聞で、太田市では、小中学校の第2子から給食費の補助を進めていくとのことであった。年間約2億円の経費を予算化し、子育て支援政策の一環との報道である。隣の市のことではあるが、町長はどう考えるか。

給食費の軽減に努める

答 町長 町では、幼稚園等については第2子第3子の給食費の軽減を行っている。小中学校においても低所得者層といわれる家庭についての補助を拡大している。これらの現状を踏まえ、これらで第2子第3子への軽減策を考えていきたい。

答 教育長 大変難しい質問で、十分な協議が必要である。

問 米飯の提供については、本町のような公営の給食センター方式では経費の関係で外部の専門業者に委託するのがベストなやり方と考えられるが。

答 教育長 現状で支障がないので、地産地消を念頭に置き現状で進めていく。

問 大泉町においても本年度軽減している。大泉町は、給食は民営化だがこの件についてはどう考えるか。

その他の一般質問
・小学校における英語教育について



邑楽町産の野菜を使った美味しい給食



松村 潤
議員

防災減災対策について

高めるということであると思いが。

女性委員の 拡大増員を図る

と思っている。できるだけご理解をいただく中で、多くの方に委員になっていただくよう努力する。

問 防災対策基本法に基づき邑楽町防災会議が設置されているが、防災会議の役割について伺いたい。

答 副町長 邑楽町防災会議条例第2条に、地域防災計画を作成し、防災活動を推進することと定められている。

問 その防災会議に女性委員の拡充をさせていただきたい。女性委員の割合が低い理由として、委員の職指定、いわゆる充て職があることで、指定された職に女性がいなかったり、女性が少ないことがあげられている。災害が発生した後の復興に重要な役割を担っていることを考えると、女性が2名では少ないのではないか。避難所運営に女性の視点を生かすために、

女性の割合を確保していたきたい。

答 町長 2名では、女性の意見が十分反映できない。女性委員については積極的に拡大を考えていく。

問 熊本震災での女性の生の声であるが、「女性専用の更衣室や授乳室はあるけれど間仕切りがなかった」「女性の仮設トイレを男性が使用している」「避難所にはプライバシーはない」等々。また、内閣府の調査でも、避難所で暮らす女性が「授乳や着替えの場所がない」「下着を干しにくい」といった悩みを抱え、ストレスの要因になっている実態がわかった。熊本震災では過去の震災で学んだことが十分生かされていない

かっただと思うが。

答 教育長 避難所での生活が長くなればなるほど女性や小さな子どもは大変だと感じている。防災減災に対する女性の意見や避難所での女性対応のあり方等女性の視点が重要である。女性委員の数を増やすことは必要かつ重要である。

問 地域防災計画には、防災思想の普及計画の項目に「被災時の男女のニーズの違い等男女双方の視点に十分配慮した防災を進めるため、防災の現場及び防災の方針等検討過程における女性の参画を拡大し、男女参画の視点を取り入れた防災体制を確立するよう努める」とあるが、これは防災会議に女性委員の割合を

答 町長 婦人会、婦人消防隊、ボランティア、小中学校・幼稚園・保育園のPTA等の団体をお願いし、女性委員の拡大増員を図っていく。次期の防災会議までにできるよう努める。

問 防災会議条例第3条第5項の9に「自主防災組織を構成する者または学識経験のある者」ということで町長が委嘱することができるとなっている。具体的に目標を掲げていく考えがあるのか。

答 町長 30名の3分の1となれば10名になる。私自身それでよい

問 その防災会議に女性委員の拡充をさせていただきたい。女性委員の割合が低い理由として、委員の職指定、いわゆる充て職があることで、指定された職に女性がいなかったり、女性が少ないことがあげられている。災害が発生した後の復興に重要な役割を担っていることを考えると、女性が2名では少ないのではないか。避難所運営に女性の視点を生かすために、

問 地域防災計画には、防災思想の普及計画の項目に「被災時の男女のニーズの違い等男女双方の視点に十分配慮した防災を進めるため、防災の現場及び防災の方針等検討過程における女性の参画を拡大し、男女参画の視点を取り入れた防災体制を確立するよう努める」とあるが、これは防災会議に女性委員の割合を

答 町長 30名の3分の1となれば10名になる。私自身それでよい



町防災訓練で行われた初期消火の様子

一般質問



大野 貞夫
議員

空き家対策について

問 平成25年度、国土交通省の統計発表によると、全国で約820万戸といわれる空き家がある。この背景には、核家族化による一人住まいの高齢者が増加していることがある。町内でも一人住まいの高齢者が増えている。現在の状況は。

答 町長 空き家の実態調査の結果、件数は320軒ほどある。管理されているものが194軒、管理されていないものが110軒、このうち不明が16軒である。

問 平成27年5月に、国土交通省による空き家対策特別措置法が施行された。これを受けて、昨年10月に庁内調整会議が行われたが、そのときの内容は。

答 町長 空き家対策特別措置法が施行されたことにより調査をした。そのデータを地図上に落とし、住所、所有者の確認、建物の構造等、実態を把握した中で、周辺の環境がどうかということも含め調査をした。

問 空き家対策特別措置法の中で、危険な建物であると指定されると、「特定空き家」となる。自治体から処分について命令できる形になると、当然、撤去費用がかかる。同時に更地にした場合、固定資産税もということ、所有者にはダブルで負担がかかってくる。今後の対策として、具体的にどのように考えているのか。

答 町長 例えば、所有者の確認がとれた場合は、了解を得た中で、リニューアルしたうえで他の目的に活用する。また、現段階では、建物が把握できた場合には、所有者に対して適正な管理をしていただくような文書を発送して対応する。また県内でも、条例をつくって対応しているところもあるが、定住促進のための利用あるいはリフォームに対する補助等あるようである。

問 全国では400ほどの自治体が既にこの条例を制定している。今後の対策についていえば、町としても早急に必要と思う。また、「特定空き家」に指定された場合、その支援策も含めて研究する必要がある。

る。答弁の中にもあった「空き家」の公的利用、町営住宅としての活用、高齢者対策としての施設、例えば、「よっていがっせ」。また、子どもの児童対策、リフォーム助成制度も有効に使うてできると思うが。

資源を有効に活用することは大切

答 町長 財産というか、資源を有効に活用することは大切である。これはあくまでも、個人の所有物ということもある。軽々にとりかかると、軽々にどうこうするわけにはいかないが、やはり他の方法で活用できるものについては、これは決まりをつくる中では、十分踏まえた上での制定とされている。今、事例をいくつか言われたが、そういった活用方法もあるということとは認識している。



雑草が生い茂る空き家

その他の一般質問
・就学援助制度について



原 義裕
議員

ガバ沼及び中野沼周辺 一帯の整備について

問 県の整備事業が終わり、駐車場やトイレ・展望場・遊歩道が整備され、観光地としての引き入れができた。今後の町としてのガバ沼周辺開発の考えを聞きたい。

答 **町長** ガバ沼周辺は、県の整備事業であり、県との協議が必要で、検討していく。

問 ガバ沼周辺を利用することが、観光の一つではないか。

答 **町長** 自然が豊かで素晴らしい所だ。周回の遊歩道も活用でき、多々良沼には藤棚もある。5月には地域の祭事もあり、取り組むには十分だ。

問 ガバ沼周辺は県と協議しなくてはというが、邑楽町ではないか。

答 **町長** 県立多々良沼公園であり、お世話になっている団体とも協議していかなければならない。

問 白鳥を愛する会が休憩所にしたり、町の物産や野菜を販売しているコンテナ小屋が古くなっている。白鳥飛来地推進事業補助金等の予算で、補修か新設ができないか。

答 **町長** 暫定的に利用している経緯があり、新規に建て替えることはできない。

問 白鳥を愛する会の皆さんは、ボランティアで活動している。また、観光

資源として白鳥やカモ・タカなどを保護するのであれば、補助金を増やす考えはあるか。

答 **町長** 活動費は若干だが助成している。

問 中野沼本来の使用目的を聞きたい。

答 **町長** 現在は沼を利用した水質保全対策事業で、鶉地区の水田の一部水源地として利用している。

問 平成23年の東日本大震災のとき、沼の北側に整備した木製の遊歩道が傾いて、歩行禁止の危険な場所があり、放置されている。承知しているのか。

未修繕の部分は
今後考えていく

答 **町長** 水生植物を観察する目的で作られ、一部修復している。未修繕の部分は、今後考えていく。

問 中野沼は、農業用のもので釣りをするとろでないと解釈したが、現実には大勢の釣り人がいる。

答 **町長** 目的外の使用なので、十分調査して対応していく。

問 釣りを楽しむために作った栈橋が老朽化して腐食破損している。誰が責任を取るのか。

答 **町長** 許可をした訳でもないのので、撤去等も含めて検討していく。

問 町長の選挙公約にある町民農園の準備は整っているのか。

答 **町長** 担当に指示しているが、農園開設に向けての準備は整っていない。



壊れたままの中野沼の栈橋

問 平成28年度の予算にも上げていない。まだまだ先になってしまふ。JA支援の農園利用者は収穫を喜んでいる。中野沼の北側に町民農園を検討してはどうか。

答 **町長** 遊休農地があるう努力していく。

一般質問



神谷 長平
議員

行財政運営について

問 今年の4月から新しくスタートした機構は順調に機能しているのか。

答 町長 平成28年4月に一部機構を変えたものの若干の不具合はある。その経過を踏まえた中で対応していく。

不具合があると認識している。

とも含め、改善を図っていかねばならないと思っている。

問 安全安心課が一番の原因と私は思っている。役場の事務スペースが狭かったのか。一つの課が1階と2階に配置されて、町民に不便をきたすような状況になっている。

答 町長 指摘のように一つの課を1階と2階に分けたことについては、町民への配慮がなかった。改革した当時はそれで将来的によいと考えたわけだが、実際経過を踏まえてみると

問 2階の安全安心課に職員は3人いるが、現場や出張等の機会もあると思う。たまたま安全安心課へ行ったときにカウンターに『ただいまのお時間は庁舎1階の安全安心課にお願いします』との掲示板が立て

かけられていた。留守のときは隣の課の職員が電話対応をしている。係違いの対応のため、恐らく電話を受けるだけで、後日回答するくらいの対応しかできないと思うが、結果どのように考えているのか。

答 町長 結果として町民の皆さまに迷惑を掛けている。早急にどのような形が一番よいのかというこ

問 邑楽郡内5町あるが、総務課が防災関係を担当している町は、本町を除いて何町あるのか。

答 町長 5町の中で総務課対応は4町である。

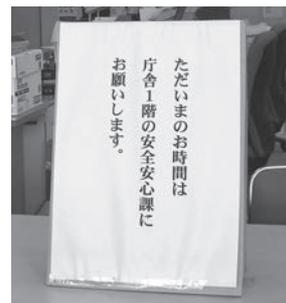
問 町長室の一番近くに防災室がある。庁舎を建設するときに、総務課の東に防災室が配置されている。防災関係は庁舎全体を掌握している総務課長が招集を掛けるべきでないのか。来年には、理想的な職務体制をとるよう期待しているが、

適正な職務機構を進める

答 町長 職務執行上不具合があり、町民の皆さんに不便をきたしているということであれば、早急に適正な職務機構を進めるということで理解していただきたい。



1・2階に分かれている安全安心課





塩井 早苗
議員

地域防災計画について

問 邑楽町の防災計画の中にある避難所の耐震性はどの程度確保されているのか。

答 **安全安心課長** IS値が0・6以上の場合倒壊・崩壊する危険性が低いとされている。避難所に予定されている町の公共施設については、邑楽町立集会所以外は全て基準を満たしている。

問 地区の集会所も避難施設に指定されているが、どの地区の建物も老朽化している。そこが避難所になり得るかというのには甚だ疑問だ。庁舎は、災害時の防災拠点であり、被災した場合の代替施設は。

答 **安全安心課長** 地区の避難所は、洪水等で使

うと指定している。庁舎以上の耐震性を備えた施設は

ほかにないのが現状である。庁舎の耐震性は、震度6から7程度の地震に耐えられる構造となっている。本町は、利根川、渡良瀬川に挟まれた地域であり、水害に見舞われる危険性が高い。平成28年度末までに新たな氾濫シミュレーションが公表されるので、これに対応したハザードマップを作成し周知したい。

問 東日本大震災、御嶽山の噴火、茨城県常総市の水害、熊本の地震等災害

が起きているのが実情である。私たちは、その強い教訓として想定外のことを想定しなければならぬ。各避難所の非常用電源設備の

状況は。

答 **安全安心課長** 避難所については、非常用電源設備は設置されていない。現在、汎用発電機を町が1台、消防署に3台、邑楽消防団の各詰所に12台、合計16台が配備されている。

問 給水車の購入計画は。

答 **安全安心課長** 給水車については、現在群馬東部水道企業団の管理である。災害マニュアルを作成中であり、内容を確認し考えていきたい。

問 非常用の浄水装置はどのような状況になっているのか。

答 **安全安心課長** 2台配備し中野小学校のプールと役場北側倉庫に設置保

管している。池や河川の水、防火用貯水槽の水など、にぎりの激しいものなどは浄化しきれないこともある。非常用浄水装置は備蓄している飲料水がなくなり、給水車の手配ができないなど非常時に使用することを想定している。

問 非常用の食料や飲料水の備蓄の状態は。

答 **安全安心課長** 5年をかけた最終的には食料品1万3350食、飲料水4818リットルを備蓄する。

問 医薬品の備蓄状態は。

答 **安全安心課長** 現状では、医薬品の備蓄はしていない。

問 想定外の災害が次々と起きています。これらに対する備えは、今まで以上に必要と感ずるが。

災害時緊急体制

づくりが必要



災害時に活躍するヘリコプター

答 **町長** 災害が起きる前に準備ということはもちろんだが、災害が起きた場合、即緊急態勢がとれるような体制づくりも必要である。

※IS値とは

建物の耐震性能を表す指標

一般質問



松島 茂喜
議員

教育委員会の役割と あり方について

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育委員会の役割とあり方について変化があったと思うが、町の教育委員会は子どもたちのためにしっかりと機能しているのか。

答 町長 十分にその仕事を果していただいていると思う。

問 教育長、教育委員の立場において、自己評価で結構だが、双方にその見解を伺う。

答 教育長 私が少し気になるのは、会議の透明化という課題である。これは、改善していかねばならない部分だと思う。

教育委員 チェックという項目だが、素人が予算や何

かの数字を見てもわかるわけではない。透明化という面では、個人情報点を伏せるなりして公開する方向で検討している。

問 報酬を血税からいただいている立場なので、素人では非常に困る。しっかりとチェック機能を果たせるという自信を持って教育委員を受けていただいている認識でいたが、非常に残念である。会議の召集権が委員にもあるが、委員発議によって会議が行われた経過はあるのか。

答 教育長 私の在任期間中はない。

問 教育委員がしっかりとチェック機能を果たしていれば、その機会があった

筈である。衛生管理基準を遵守していないという給食の問題が起きたときにも委員として、召集をかけることもできなかったのは、チェック機能が果たされていないというところである。もう一つ、会議の透明化であるが、教育委員会のホームページすらない。どう改善を図っていくのか。

答 教育長 考えてはいたが、とにかく取扱注意の公表について、ホームページの充実と透明化を図っていききたい。

問 積極的な情報提供が行われなければ、情報を共有して、議論を深めていくこともできない。最低限のことである。まだ果たせ

ていない役割が浮き彫りになったが、町長の見解を伺う。

答 町長 会議の内容を広く周知することである。今後十分に検討するというよりも進めていくと私は受け止めた。ホームページの開設についても行っていただけだと思う。私のほうからも教育長に具申したいと考えている。

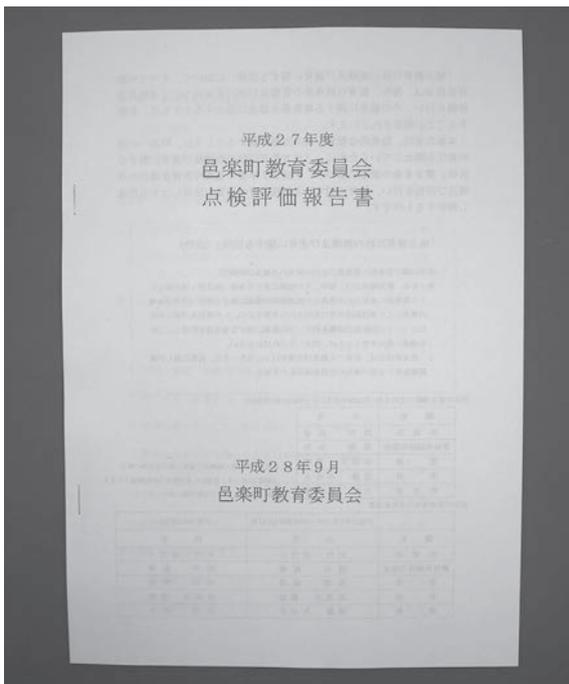
問 いつ頃までに会議録を公開する予定か。

答 教育長 できれば、今年中に開設できたらいという段階で、絶対この月からという約束はできないが、今年中には方向性を定めてやっていきたい。

その他の一般質問

- ・学校給食について
- ・第六次総合計画について

今年中に
開設する方向で



年1回公表されている教育委員会の報告書



小島 幸典
議員

中央公民館完成後の 旧3公民館の管理計画は

問 中央公民館の工事請負契約額は、建築、電気設備、機械設備、舞台設備

工事で16億5348万円である。町長が、第六次総合計画の指標に力強く、子育て、福祉、教育文化の向上と人にやさしいまちづくりを考え、新公民館でなく現在の3公民館の管理費に約7600万円、平成27年度には邑楽町公民館の耐震補強に約8500万円かけている。子育て支援、老人福祉支援のため、3公民館のネーミングライツと邑楽町公民館では駐車場が広いため、運送業者等に貸し出すことで、収入や雇用も増えると思うが。

民間への貸し出しは
考えていない

答 町長 経費への取り組みは、それぞれの方法がある。議員が言われたように町の公共施設を民間に貸し出して、経費削減を図る考えもあるが、中央公民館完成後の3公民館の管理計画については、議員が質問されたようなことは考えていない。今後、公共施設として具体的に有効な活用方法を探り、経費削減を図っていく。

問 国も県も借金がすごい。企業誘致は、お年寄り、若い人たちの生活の糧になる。国の借金は約1000兆円を超え1秒間で約82万円ほど借金が積もっていくとある新聞に書いてあり、10年後には8分の1の世帯が65歳以上の家庭になると

答 町長 社会福祉協議会が利用するということが煮詰めており、福祉事業に利用したい。

問 邑楽町公民館の今後の使い道は。

答 町長 邑楽町公民館はホールもあり多くの会議室もある。また、広い駐車場もある。老人施設を作るのは

問 邑楽町公民館の今後の使い道は。

答 町長 社会福祉協議会が利用するということが煮詰めており、福祉事業に利用したい。

大変な時間とお金がかかるが、貸し出すことで町民も早く利用できる。町民の生活を楽にしていくビジョンは。

答 町長 社会福祉協議会で利用するスペースについては、今まで使っていた団体があり、全て社会福祉協議会ということにはならない。高齢化については、現在65歳以上の人が28%を超えている。こういう方々が住んでよかったと元気で生活できるような高齢者対策の視点について力をそそぎたい。

問 3公民館の維持管理費は、いくらにかかっているのか。

答 町長 臨時職員の賃金などを除いた維持管理費は2367万5205円である。

問 平成27年度の3公民館の人件費を含めた管理費は7592万9838円である。この管理費を誰が

払うのか。

答 町長 町民の貴重な税金と国や県からの補助金である。

その他の一般質問
・役場職員の名札の改善について



広い駐車場がある邑楽町公民館



休憩室 The Lounge

仲間と共に頑張れ！



谷津 めぐみ
(坪谷・22区)

私には、9歳と6歳の子どもがいる。二人ともスポーツクラブに所属している、いろいろな個性を持つ子と触れ合えて楽しい。

クラブに入ったばかりのときはおとなしかった子が、小さい子の面倒を見られるくらいに成長した。声が出ていない子を注意したり雑用を自ら手伝ってくれる。お手本になれるくらいに成長した。しっかりとした対応力が身に付いている。悔しくて涙が出てしまっても練習をこなせる。自分の子どもだけでなく他の子の成長や頑張りを見られるのがうれしい。頑張っている姿を見ているから試合に出ているときは、つい力の入った応援をして喉が痛くなってしまふこともしばしば。

試合は一人でやる競技でも、共に成長し合える仲間がいることは素晴らしい。目標を持って頑張つて欲しいし、私もみんなの成長や頑張りを見守つていきたいと思う。

盆栽に教えられて



山田 利光
(新中野・33区)

盆栽との出会いは50年前になります。仕事の関わりから、多くの家庭を訪れた際にいただいたのが鉢物盆栽でした。

四季折々に見事に姿を変えるその風情は、新緑の展開や開花、実成りや紅葉に強い感動を覚えました。

盆栽とは「自然の景観を盆上に写すもの」と定義されていますが、上手に管理された盆栽は圧巻で、やさしさや美しさを保たれたその姿に心を奪われます。

盆栽といっても多くの種類があり、松類などの松柏、梅や木瓜、さつきなどの花物、姫リンゴやアケビなどの実もの盆栽が主力となって、他にも石付きや草物もあります。

年齢を重ね、永く接している盆栽とは会話ができると思える現在、「老後の生きる道しるべを教えられた」ような気もする最近の私であります。

議会のうごき

8月

- 10日 学校給食問題調査特別委員会情報交換会
- 21日 おうら祭り
- 23日 群馬東部水道企業団全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 26日 全員協議会
学校給食問題調査特別委員会
- 29日 邑楽郡町村議会議長会臨時会

9月

- 6日～16日 9月定例会
(本会議、議会運営委員会
各常任委員会、全員協議会
各特別委員会、広報委員会)
- 21日 戦没者追悼式
- 27日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会

10月

- 2日 町民体育祭
- 3日 群馬東部水道企業団議会
太田市外三町広域清掃組合議会
- 5日 議会広報委員会編集会議
- 13日 総務教育常任委員会町内行政視察調査
- 14日 議会広報委員会校正会議
- 17日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
- 19日 全員協議会、中央公民館建設特別委員会
- 21日 邑楽郡町村議会議長会親善スポーツ大会
- 28日 群馬県町村議会議長会議員研修会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は

12月12日から16日を
予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は13日、14日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様相を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで **88-5511 (内線300)**

北海道小樽市



渡邊 孝治
(明野・34区)

私 のふるさととは、北海道小樽市手宮です。海と山に囲まれた坂の多い、自然豊かな所で生まれました。

小樽市の人口は、40年前までは20万人くらいでしたが、今は約12万人に減り高齢化が進んでいます。

冬になると積雪が多く、日常生活の中に雪かきもあり、生活の一部となっています。現在では高齢者の方が多く、雪かきも大変な仕事になってきています。

小樽の人たちは、人柄が

やさしく面倒見がよく、近所の人たちの絆が強い所です。

最近では、小樽がテレビで紹介されることが多くなり、国内だけでなく海外からも観光に来て賑わいがあります。有名なのが小樽運河、水族館、天狗山、石原裕次郎記念館などたくさんあります。

食べ物では、ラーメン、すし、魚、とうもろこしなどたくさん美味しいものがあります。小樽を離れて3年がたちますが、帰るたび

に近所を散策すると昔のままの所が数多くあり、懐かしく思い、帰りはいつも涙が出てしまいます。

もし、皆さんが北海道に観光に行くときには、ぜひ、小樽に立ち寄ってください。



観光スポットの小樽運河



読者の皆さまこんにちは。今年の夏は、全国各地で台風の影響もあり、川の氾濫や土砂崩れで多くの人命が失われました。また、作物への被害も甚大で、家計にも大きく影響しています。

9月議会においては、邑楽町第六次総合計画基本構想が議決されました。また、平成27年度の決算が審議され承認されました。

議会では、分かりやすく、町民皆さまの参加できる議会改革を進める一環として、動画による録画映像のインターネット配信や議会だより一般質問者の顔写真を掲載しました。そして、議会だよりの表紙の写真を読者から募集し、身近な議会にしようと考えています。

町政チェック機関として、透明で分かりやすく、皆さまに愛読されるよう活性化された広報活動を心掛けています。改革と改善を目標に一歩一歩進めていきます。読者皆さまのご指導をよろしくお願いいたします。

(原記)